※令和５年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	2	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard (数研出版) スクランブル英文法語法[4th　edition] 英語の構文 80 （美誠社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。論理・表現Ⅱではそのため発音・構文・文法を学び、話題別の言語活動を行います。授業では、間違いを恐れず積極的に活動に参加しましょう。
聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えをまとめて、話したり書くことでそれを発表する力を養います。聞いている人に伝わることを意識して、英語を書いたり話していく練習をしましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・100 語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。	・定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。	・準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を身につけている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。

※令和５年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Part1 Basic Expressions Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解し、将来の目標や学校生活について必要な情報を正確に聞き取っている。 b: 将来の目標や学校生活について、必要な情報を聞き取っている。 c: 将来の目標や学校生活について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 適切な主語や動詞の使い方を理解し、将来の目標や学校生活について書かれた文章を正確に読み取ることができる。 b: 将来の目標や学校生活についての文章を理解することができる。 c: 将来の目標や学校生活についての文章を理解しようとしている。	定期考査 等
		話すこと （発表）	a: 適切な主語や動詞を用いて、将来の目標や学校生活について話すことができる。 b: 適切な主語や動詞を用いて、将来の目標や学校生活について話すことができる。 c: 将来の目標や学校生活を話そうとしている。	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 文と文のつながりやパラグラフ構成を意識して、将来の目標や学校生活について論理的に書くことができる。 b: 文と文のつながりを意識して、将来の目標や学校生活について、理由や具体例などを加えて説明する文を書いている。 c: 将来の目標や学校生活について、理由や具体例などを加えて説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
	中間考査			
	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解し、スポーツや情報時代について必要な情報を正確に聞き取っている。 b: スポーツや情報時代について、必要な情報を聞き取っている。 c: スポーツや情報時代について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 適切な動詞や助動詞の用法を理解し、スポーツや情報時代について書かれた文章を正確に読み取ることができる。 b: スポーツや情報時代についての文章を理解することができる。 c: スポーツや情報時代についての文章を理解しようとしている。	定期考査 等
		話すこと (やりとり)	a: パラグラフの構成に意識し、スポーツや情報時代について自分の意見や主張を話すことができる b: パラグラフの構成に意識し、スポーツや情報時代について伝え合うことができる。 c: スポーツや情報時代について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 例示・追加や比較・対照のパターンを用いて，スポーツや情報時代について論理的に書くことができる。 b: 例示・追加や比較・対照のパターンを意識して、スポーツや情報時代について、具体的に詳細を説明する文を書いている。 c: スポーツや情報時代について、具体的に詳細を説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
	期末考査			
2 学期	Lesson 7 Lesson 8 Part 2 Functional Expressions Lesson 1	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解し、環境問題や文化や言語教育について必要な情報を正確に聞き取っている。 b: 環境問題や文化や言語教育について、必要な情報を聞き取っている。 c: 環境問題や文化や言語教育について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 名詞の修飾や関係詞や不定詞の用法を理解し、環境問題や文化や言語教育を正確に読み取ることができる。 b: 環境問題や文化や言語教育についての文章を理解することができる。 c: 環境問題や文化や言語教育についての文章を理解しようとしている。	定期考査 等

※令和 5 年度以降入学生用

		話すこと （発表）	a: パラグラフの構成に意識し、環境問題や文化や言語教育について自分の意見や主張を話すことができる。 b: パラグラフの構成に意識し、環境問題や文化や言語教育について伝えることができる。 c: 環境問題や文化や言語教育について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 原因・理由・結果の表現を用い、根拠と主張や理由の根拠を示して、環境問題や文化や言語教育について論理的に書くことができる。 b: 原因・理由・結果の表現を用い、根拠と主張や理由の根拠を示して、環境問題や文化や言語教育について詳細を説明する文を書いている。 c: 環境問題や文化や言語教育について詳細を説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
	中間考査			
	Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解し、社会と願望や科学技術について、必要な情報を正確に聞き取っている b: 社会と願望や科学技術について、必要な情報を聞き取っている。 c: 社会と願望や科学技術について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 様々な伝達表現や仮定法や数量を表す表現を理解し、社会と願望や科学技術について書かれた文章を正確に読み取ることができる。 b: 社会と願望や科学技術についての文章を理解することができる。 c: 社会と願望や科学技術についての文章を理解しようとしている。	定期考査 等
		話すこと （やりとり）	a: スピーチやプレゼンテーションの構成や伝え方を意識して、社会と願望や科学技術について自分の意見や主張を話すことができる b: スピーチやプレゼンテーションの構成や伝え方を意識して、社会と願望や科学技術について伝えあうことができる。 c: 社会と願望や科学技術について伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 様々な伝達表現や仮定法や数量を表す表現の使い方を理解し、社会と願望や科学技術について論理的に書くことができる。 b: 伝達表現や仮定法や数量を表す表現の使い方を意識して、社会と願望や科学技術について詳細を説明する文を書いている。 c: 社会と願望や科学技術について説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
	期末考査			
3 学期	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	聞くこと	a: 英語の音声的な特徴を理解し、健康とビジネスについて必要な情報を正確に聞き取っている。 b: 健康とビジネスについて、必要な情報を聞き取っている。 c: 健康とビジネスについて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内課題 等
		読むこと	a: 比較や否定の表現を理解し、健康とビジネスについての文章を正確に読み取ることができる。 b: 健康とビジネスについての文章を理解することができる。 c: 健康とビジネスについての文章を理解しようとしている。	定期考査 等
		話すこと （発表）	a: ディベートやディスカッションのルールや手順，構成を理解して健康とビジネスについて自分の意見や主張を話すことができる b: ディベートやディスカッションのルールや手順，構成を理解して、健康とビジネスについて伝えあうことができる。 c: 健康とビジネスについて伝えようとしている	パフォーマンス課題 等
		書くこと	a: 比較や否定の表現の使い方を理解し、健康とビジネスについて論理的に書くことができる。 b: 比較や否定の表現の使い方を理解し、健康とビジネスについて具体的に説明する文を書いている。 c: 健康とビジネスについて説明する文を書こうとしている。	定期考査 等
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度